

臨床研究に関する情報公開

脳梗塞を起こした頸動脈狭窄症の患者さんは全身の動脈硬化が強く、手術を行う場合、心筋梗塞などの様々な合併症を起こしたり、手術に伴い脳梗塞や脳出血を起こしたりすることがあります。

当院では、十分な術前検査を行った上で、合併症をより少なくすることに努めていますが、過去に治療を行った患者さんのデータを解析し、治療方針が妥当であったか否かを検討しました。

研究課題

当症候性頸動脈病変の血行再建術を成功させるための術前評価に基づく治療方針の決定

研究に際し、調査登録の対象になるのは、**2011年～2015年**に頸動脈内膜剥離術もしくは経皮的頸動脈ステント留置術を施行した患者さんです。身体所見、術前の各種検査結果（採血、CT、MRI、血管造影、超音波検査など）、および、選択した手術成などから得られた診療情報は、匿名化されたうえで、邑楽館林医療事務組合館林厚生病院脳神経外科の研究者が評価・解析いたします。

また、その研究結果は、医学会（**2016年4月**の日本脳卒中の外科学会など）や専門雑誌などで報告されることがあります。

本研究に関する医学的データの利用に関しまして、不同意意思がございましたら、下記連絡先まで、**2016年4月10日**までにお申し出ください。なお、データの提供をお断りになった場合におかれましても、それによって診療上不利になることは一切ありません。

また、この件に関しまして、ご質問等がございましたら、遠慮なくお尋ねください。

なお、本研究は当院倫理委員会の承認を受けております。

邑楽館林医療事務組合 館林厚生病院 脳神経外科 部長 松本正弘

本件に関するご質問・お問い合わせ先：

平日 9:00-17:00 担当者：脳神経外科 部長 松本正弘 連絡先：TEL：0276-72-3140